



インストール ドライバの情報

この付録では、次の項目について説明します。

- [Windows のインストール ドライバ, 1 ページ](#)
- [取り付け済みデバイスの表示, 2 ページ](#)

Windows のインストール ドライバ

必要なインストール ドライバとドライバの詳細情報は、*Cisco UCS B-Series Drivers DVD* で入手できます。



(注) *UCS B-Series Drivers DVD* ISO 画像は、Cisco.com サポートサイトの Unified Computing and Servers > Cisco UCS B-Series Blade Server Software > Unified Computing System (UCS) Drivers にあります。URL は <http://www.cisco.com/cisco/software/type.html?mdfid=283853163&flowid=25821> です。

ドライバは、オペレーティング システム別にトップレベルのフォルダに整理されています。また、必要なドライバを見つけやすいように、各オペレーティングシステムフォルダは、階層が深くなるほど詳細な分類になるように複数階層のサブフォルダで構成されています。ドライバが含まれるフォルダに移動すると、そのドライバの使用対象について説明した1つまたは複数の README ファイルもあります。

Windows のフォルダ構造の例を次に示します。

```
Windows
  ChipSet
    vendor
      blade-model-number
      OS-version-number
      All
      ia64
      Lang (contains language subfolders)
      Vista
      x64
  Mgmt
    Emulex
      model-number
      ElxPlus
```

```

        OS-version-number
        x64
Network
  vendor
    model-number
      OS-version-number
      x64
Security
  TPM
    OS-version-number
    x64
Storage
  vendor
    model-number
      OS-version-number
      x64
Video
  Matrox
    G200e
      OS-version-number
      x64

```

たとえば、Cisco UCS M81KR 仮想インターフェイス カード用の Windows Server 2008 Release 2 ドライバについては、Windows/Network/Cisco/M81KR/W2K8R2/x64 フォルダを参照してください。

取り付け済みデバイスの表示

UCS Manager GUI を使用した取り付け済みデバイスの表示

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Equipment] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] > [Server Number] > [Adapter] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインの [Adapters] タブを確認します。
選択したサーバにインストールされているすべてのアダプタが表に表示されます。
-

UCS Manager CLI を使用した取り付け済みインターフェイス カードの表示

手順

-
- ステップ 1 Telnet または SSH を使用して UCS システムに接続します。
 - ステップ 2 UCS-A# **scope server chassis-id / server-id**

指定したシャーシの指定したサーバについて、シャーシのサーバモードを入力します。

ステップ 3 UCS-A /chassis/server # show adapter

サーバに取り付けられているインターフェイスカードの一覧が PID 番号順に表示されます。

```
switch-A # scope chassis-2 server10
switch-A /chassis-2 # show adapter

Server 1/1:
Adapter PID Vendor Serial Operational State
-----
1 N20-AE0002 Cisco Systems Inc EXM12510017 Operable
2 N20-AE0003 Cisco Systems Inc EXM12510018 Operable

switch-A /server-qual #
```

KVM コンソールを使用した取り付け済みデバイスの表示

手順

ステップ 1 Web ブラウザで、Cisco UCS Manager GUI の Web リンクを入力または選択します。

例：

デフォルトの Web リンクは `http://UCSManager_IP` または `https://UCSManager_IP` です。スタンドアロン構成の場合、`UCSManager_IP` はファブリック インターコネクタの管理ポートの IP アドレスです。クラスタ構成の場合、`UCSManager_IP` は Cisco UCS Manager に割り当てられている IP アドレスです。

ステップ 2 Cisco UCS Manager 起動ページの [Launch KVM Manager] をクリックします。

ステップ 3 [Security Alert] ダイアログボックスが表示された場合は、[Yes] をクリックしてセキュリティ証明書を受け入れ、続行します。

ステップ 4 [UCS - KVM Launch Manager Login] ページで、次の手順を実行します。

- Cisco UCS のユーザ名およびパスワードを入力します。
- (任意) Cisco UCS の実装に複数ドメインが含まれる場合は、[Domain] ドロップダウン リストから適切なドメインを選択します。
- [OK] をクリックします。

ステップ 5 KVM Launch Manager の [Service Profiles] テーブルで、次の手順を実行します。

- インストール済みデバイスの確認に使用するサービスプロファイルとそれに関連するサーバを含む行を探します。
- そのサーバの [Launch KVM] 列の [Launch] をクリックします。
別ウィンドウに KVM コンソールが表示されます。

ヒント KVM セッションを開いたときにキーボードの **Caps Lock** キーがオンになっており、その後が続いて **Caps Lock** キーをオフにすると、KVM コンソールは **Caps Lock** キーがオンのときのように動作する場合があります。KVM コンソールとキーボードを同期させるには、KVM コンソールにフォーカスがない状態で **Caps Lock** キーを1度押し、次にKVM コンソールにフォーカスを置いて **Caps Lock** キーをもう一度押しします。

ステップ 6 サーバをリブートし、ブートアップ時にコンソール画面に表示される取り付け済みデバイスに関する情報を確認します。
